

事業名	北部観光推進事業
-----	----------

総事業費	604 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	滞在型観光の推進	
事業の実績 と成果	取組内容	県の魅力ある観光地づくり事業を活用し、へご自生群落のR6年度以降の整備に向けた県及び地権者との協議や調整作業を進めた。
	成 果	県及び地権者との協議や調整作業もスムーズに進めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	種子島は屋久島への通過点となっており、種子島における滞在型観光の推進には、本事業だけにとどまらず更なる観光施設等の整備を行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	魅力ある観光地づくり事業において、浦田海水浴場から奥神社、へご自生群落への施設整備に係る県や地権者との協議もスムーズに進んでいる。今後は、東海岸の滞留場所の整備と併せ、周遊ルートの確立を進め、人の受け入れを推進していくことが急務である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	東海岸の滞留場所の整備と併せ、周遊ルートの確立を進め、人の受け入れを推進していく。
-----------	---

事業名	観光推進事業
-----	--------

総事業費	1,334 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		・種子島を紹介（PR）してもらう ・PRイベント来場者に種子島を認知してもらう
事業の実績 と成果	取組内容	種子島に係る観光PRを行い、種子島の認知及び誘客を図った。
	成 果	福岡・大阪・名古屋・東京などで開催された物産展や観光PRイベントに参加したことで、多数の方々に直に種子島の観光をPRすることで、効果的な取組みができた。また、イベントの再開に伴い、現時点における種子島の観光の課題点（馬毛島の工事による影響）を把握することができ、次年度に向けた取組方針を固めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	SNS等、ネットによる観光PRの促進は当たり前であり、より一層の拡充や仕掛けづくりが必要。多数が集う場所での人的投入をしたPR活動の効果について、再検証する必要があるものの、直に人と接することによる親近感等、メリットの部分も大きいと考える。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	福岡・大阪・名古屋・東京などで開催された物産展や観光PRイベントに参加したことで、多数の方々に直に種子島の観光をPRすることで、効果的な取組みができた。また、イベントの再開に伴い、現時点における種子島の観光の課題点（馬毛島の工事による影響）を把握することができ、次年度に向けた取組方針を固めることができた。 今後の展開として、インバウンド需要が高まることから、その受け入れに向けた環境形成が必要である。同時に、キャッチされやすい情報発信のあり方も必要。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	前年度同様の取組を進めていくが、多数が集う場所での人的投入をしたPR活動の効果について、再検証する必要がある。加えて、SNS等、ネットによる観光PRの促進をし、より一層の拡充や仕掛けづくりが必要
-----------	---

事業名	大型客船寄港受入協議会支援事業
-----	-----------------

総事業費	150 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	種子島の文化・自然・歴史・伝統・産業等を知り、興味を持ってもらう	
事業の実績 と成果	取組内容	大型客船の寄港の際、観光PRブースを設置し、来客へのおもてなしを行った。
	成 果	観光PRや特産品（茶）の無償配布、PRマスコットや火縄銃との記念撮影などを行い、1時間程度の短い滞在時間ではあったが、来島者が満足できるおもてなしができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	今回の寄港も屋久島への通過点であり、来客はバスでロケット基地を見学し高速船で屋久島へ渡航する旅行パッケージであった。通過型観光の課題が顕著に表れた事例であり、ロケット・鉄砲以外の観光コンテンツの効果的なPRや体験型への取り組みなど本腰を入れ検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	観光PRや特産品（茶）の無償配布、PRマスコットや火縄銃との記念撮影などを行い、1時間程度の短い滞在時間ではあったが、来島者が満足できるおもてなしができた。 今後、営業強化のためにも、立ち寄ってもらうための仕組みをつくる必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	前年度同様の取組を進めていく。約3年コロナの影響で寄港がなかったが、5/10の日本丸が久しぶりの大型客船の寄港となる。今後も効果的な事業展開のため、SNS等、ネットによるPRの促進をし、より一層の拡充や仕掛けづくりを行っていく。
-----------	--

事業名	水着バス運営補助事業
-----	------------

総事業費	1,026 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	種子島北部の魅力を知ってもらい、観光客等の滞在時間を増やす。	
事業の実績 と成果	取組内容	浦田海水浴場行きの水着バスを運行し、二次交通を補完する。
	成 果	利用者が少なく、利便性向上に向けた改善を進めていく必要がある。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	水着バスは、市街地から浦田海水浴場までの往復区間のみの運行であり、ほかの場所でも乗降車できれば更に利用者は増える可能性はある。ただし、行政からの補助が無い限りは交通会社のみでの自社運行は厳しいため、変わる手段の検討を進めていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	利用者が少なく、利便性向上に向けた改善を進めていく必要がある。 一方で観光地に必要な移動手段であり、利用者の利便性を考慮した運営方法が望まれる。 担い手不足、物価高騰の影響から運営が困難な状況も生まれている。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	前年度に引き続き、夏休み期間中のバス運行を行う。観光客等の二次交通の利便性の確保・向上はもとより、北部観光の推進を図れるように取り組んでいく。
-----------	---

事業名	種子島滞在型観光促進事業
-----	--------------

総事業費	6,940 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	観光誘客活動の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	もう一泊したいと旅行者に思わせるような島での食や体験といった地域の魅力の旅行商品化や観光サービスの担い手育成等を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	島内1市2町（種子島全体）による事業の展開（PR事業・商品造成販売事業・イベント事業）を行った。本年度は星空観光企画事業として、種子島観光協会に委託し、モニターツアーや滞在型観光に資する観光コンテンツの開発、ガイド育成を進めた。
	成 果	魅力ある観光コンテンツの企画ができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	本事業（星空観光）のみならず、別の観光コンテンツを組み合わせるなど、もう一泊したいと旅行者に思わせるような地域の魅力の旅行商品化を積極的に立案していくことが重要。よって、観光協会等との細かな協議が必要となる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	観光資源のコンテンツ化を進めており、相乗効果を得られる展開となっている。 一方で、旅行商品造成、情報発信のあり方に工夫が必要。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	前年度同様の取組を進めていくが、連泊につながる地域の魅力の旅行商品化を積極的に立案するためには、観光協会等との細かな協議が必要となる。
-----------	---